※令和４年度以降入学生用

学校番号	3016

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　気づく力　築く未来（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○座学はプリントを中心に学習する。教科書は資料を見るとき等に使用する。
○実習を効果的に行うため、２時間連続の授業を行う。グループワーク、映像教材などを取り入れ、２時間連続でも集中力が途切れないよう工夫する。
○高校を卒業した後、一人の人間として、健康的で自立した生活を送り、地域社会や家族・家庭に適切な行動や対処ができるように授業を構成している。

2　学習の到達目標

(1)人生の安定した家庭経営のもと健康的で自立した衣食住生活を営み、あらゆる年代の人に正しく配慮できるための知識を獲得する。
(2)家族や衣食住に関して個々の家庭での課題と日本における課題について、自ら考え、調べ検討し解決策を導き出せる。
(3)家族や衣食住の関する課題について自ら積極的にさまざまな角度から調査・研究する態度を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	衣生活をつくる	○衣生活をつくる ○被服実習 （エプロン制作）	ａ：ボタン付け、まつり縫いが指示通りできているか。糸の始末が正確にできている。 ｂ：作業内容に対する取り組み状況や刺繍などの創意工夫ができている。 ｃ：作業内容への集中度合や速さ、作業内容の理解度や反省点などを自己評価し、ワークシートに記入できている。	定期考査 ワークシート 制作実習	定期考査 ワークシート 制作実習 取り組む態度	取り組む態度 ワークシート
	高齢者とかかわる	○高齢者を知る ○高齢社会を支える仕組み	ａ：高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 ｂ：高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 ｃ：高齢社会の現状や心身の特徴や生活について積極的に知り、かかわろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 取り組む態度	ワークシート 取り組む態度
	自分らしい生き方と家族	○自立と共生 ○ライフキャリア ○共に生きる家族 ○家族に関する法律	ａ：自分自身や現在の社会状況を知り、家族に関する法律を理解し、多様化する家族の在り方や、労働の意義や労働環境を理解できる。 ｂ：各ライフステージの特徴を知り、社会状況をふまえた家族・家庭に関する問題点や課題、変化について考えを深め、表現することができる。 ｃ：現在の自分のこと、将来の生活設計を考えようとしている。現在の家族・家庭が抱える問題について興味を持って知ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 取り組む態度	ワークシート 取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

2学期	子どもとかかわる	○子どもの生活 ○子どもをはぐくむ ○子どものための社会福祉	ａ：生命の尊さ、子育ての意義や子どもの発達段階、子どもの福祉、子どもを取り巻く地域環境・社会環境の重要さについて理解することができる。 ｂ：準備・実施・考察・反省まで体験実習の一連の流れをまとめることができる。子どもの生活やとりまく環境や地域社会や国の支援策・課題について、情報を収集し、考えをまとめることができる。 ｃ:子どもを取り巻く状況について、現状を知り、その課題解決に向けて考えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 取り組む態度	ワークシート 取り組む態度
	住生活をつくる	○住まいの文化 ○安全な住まい ○住まいを計画する	ａ：安全で快適な住まいや社会環境、地球環境についての知識を身に着け、現在の住生活の課題も認識できる。 ｂ：ライフステージと住空間の設計の関係，住環境について考えを深めることができる。 ｃ：住まいの機能，住空間の計画や住環境について関心をもち，快適な住まいづくり，よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 取り組む態度	ワークシート 取り組む態度
	食生活をつくる	○食生活の課題 ○食品の選び方と衛生 ○食品の栄養と摂取量 ○調理実習	ａ：食事の意義や役割，食生活をとりまく環境などについて，現代の食生活の課題が理解できる。 ｂ：自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し，課題解決のために思考し，解決にむけての判断ができる。調理実習においては、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 ｃ： 自分自身の食生活に関心をもつとともに，自分や家族の食生活の改善・向上に努めようとする。調理実習においては，積極的に参加し，とりくもうとしている。	定期考査 ワークシート 事前学習内容の把握状況	定期考査 ワークシート 実習への取り組み姿勢 取り組む態度	実習への取り組み姿勢 ワークシート 取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

３学期	経済的に自立する	○消費行動と意思決定 ○消費生活の安全と課題	ａ：消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき，また契約についての知識を身につけている。 ｂ：多様化する販売方法や支払い方法について，問題点や解決策を考え，判断することができる。 ｃ： 自分が一消費者であることを自覚し，物・サービスの購入のあり方や，消費行動，消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 取り組む態度	ワークシート 取り組む態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度